

れいわ ねんど だい かい かみすしたぶんかきょうせいすいしんかいぎ ぎじょうろく  
**令和3年度 第1回 神栖市多文化共生推進会議 議事要録**

かいぎめい 会 議 名	れいわ ねんど だい かい かみすしたぶんかきょうせいすいしんかいぎ 令和3年度 第1回 神栖市多文化共生推進会議
にちじ 日 時	れいわ ねん がつ にち げつ ごご じ ふん ごご じ ふん 令和3年5月24日(月) 午後2時00分から午後3時40分まで
ばしょ 場 所	かみすしやくしょ がい かいぎしつ 神栖市役所3階301会議室
いんぎん 出 席 者	いとういんちよう あきやまふくいんちよう やまだいん よねかわいん すのうちいん しのづかいん 伊藤委員長, 秋山副委員長, 山田委員, 米川委員, 須之内委員, 篠塚委員, いしげいん はたけやまいん よしかわいん 石毛委員, 畠山委員, 吉川委員
じむきょく 事務局	いしだしちよう さきもとときかくぶちよう 石田市長, 笹本企画部長 せいさくきかくか やぐちかちよう ながいかりちようほさ たやまかりちよう あおやぎしゅじ 政策企画課 矢口課長, 永井課長補佐, 田山係長, 青柳主事
けつせきしゃ 欠 席 者	おくやまいん 奥山委員
ぼうちょうしゃ 傍 聴 者	なし
ぎだいい 議 題	1 かいかい 開会 2 いしよくじようこうふ 委 嘱 状 交 付 3 あいさつ あいさつ 4 じこしょうかい 自己紹介 5 いんちようおよ ぶくいんちよう せんしゅつ 委員長及び副委員長の選出 6 れいわ ねんど たぶんかきょうせいすいしんかいぎ 令和3年度の多文化共生推進会議について 7 ぎだい 議題 (1) ざいじゆうがいかくじん はあくちようさ しつもんこうもく 在住外国人ニーズ把握調査の質問項目について 8 その他 9 へいかい 閉会
はいふしりよう 配 付 資 料	しりよう かみすしたぶんかきょうせいすいしんかいぎそく 資料1: 神栖市多文化共生推進会議規則 しりよう ざいじゆうがいかくじん はあくちようさしつもんこうもく あん 資料2: 在住外国人ニーズ把握調査質問項目(案)
ぎじないよう 議 事 内 容	じ いこう とお 次ページ以降の通り

議 事

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 委員長及び副委員長の選出

かみすしたぶんかきょうせいすいしんかいぎきそくだい じょうだい こう もと いいん ごせん いいんちょう いたう  
神栖市多文化共生推進会議規則第5条第2項に基づき、委員の互選により、委員長には伊藤  
委員が選出されました。また、同規則同条第4項に基づき、委員長の氏名により、副委員長  
には秋山委員が選出されました。

- 6 令和3年度の多文化共生推進会議について  
資料1をもとに、令和3年度の多文化共生推進会議の目的と予定について、事務局より説明  
しました。

【質疑応答及び意見等】

委員 確認なのですが、このニーズ把握調査の目的は、多言語生活便利帳の改訂のため  
の、それのみのということでしょうか。

事務局 主な目的は、多言語生活便利帳の改訂のためのアンケート調査ということになり  
ます。市としてはその他にもいろいろな情報を知りたいと考えていますので、内容  
や量を調整しながら、できる範囲で項目を設定する予定です。

委員 多言語生活便利帳は英語、中国語、タイ語があるということですが、例えば、神栖市  
にはブラジル人も多く、ポルトガル語を話す人もいるため、翻訳する言語は、よく  
検討したほうが良いと考えます。

事務局 翻訳言語については、皆さんと一緒に検討してまいりたいと思います。

委員 翻訳言語に関しては、すべてケアすればいいんですけども、何か実行していく場合  
には、より効果的なものを選ぶことが必要になってくることもある。そのため、  
在住外国人の国籍データなどの基礎データを、今後資料として出していただきたい。  
い。

委員長 翻訳言語などの議論をしながら、この推進会議として、効果的な意見を神栖市に  
届けるようにしていきたいと思います。

委員 ニーズ把握調査の対象者ですが、神栖市に住んでいる外国人の方一人一人なさる  
のか、それとも世帯ごとにやるのかお伺いします。お子さんの意見も反映できると  
良いと思います

事務局 今の時点では個人向けアンケートを計画しております。

7 ぎだい 議題

(1) ざいじゆうがいこくじん はあくちょうさ しつもんこうもく  
在 住 外国人 ニーズ 把握 調査 の 質問 項目 について

資料 2 をもとに、ざいじゆうがいこくじん はあくちょうさ しつもんこうもく あん  
資料 2 をもとに、在 住 外国人 ニーズ 把握 調査 質問 項目 (案) について、じむきょく  
事務局 より せつめい  
説明 しま  
した。

しつぎおうとうおよ いけんとう  
【質疑 応答 及び 意見 等】

いいんちょう  
委員長

ざいじゆうがいこくじん はあくちょうさ なにご ちょうさ おこな  
在 住 外国人 ニーズ 把握 調査 について、何 語 で 調査 を 行 う かつ て い う の は、ま た  
べつ きかい はな  
別 の 機 会 に お 話 し す る と い う こ と で し ょ う か。

じむきょく  
事務局

また 別 の 機 会 で 調 整 い た し ま す。た だ し、5 言 語 程 度 を 想 定 し て お り ま す。

いいんちょう  
委員長

その 5 言 語 は 何 語 か 想 定 さ れ て い ま す か。

じむきょく  
事務局

たげん ごせいかつべんりちょう おな  
多 言 語 生 活 便 利 帳 と 同 じ に は な っ て し ま う ん で す け ど も、えいご ちゅうごくご たいご  
英 語、中 国 語、タイ 語、  
いま  
今 ベト ナム の 方 が 増 え て き て い る の で ベト ナム 語 を 追 加、そ の 他 は 調 整 と い う こ と  
を 想 定 し て い ま す。

いいん  
委員

むさくいちゅうしゅつ けん かみすし やく にん がいこくじん  
無 作 為 抽 出 で 1000 件 と い う こ と で し た が、神 栖 市 に は 約 2600 人 の 外 国 人 が い  
て、1000 件 と い う の は か な り カバ ー し て い る と 感 じ ま し た。一 方 で、無 作 為 抽 出  
だ と は 思 う の で す が、ワクチン の 予 約 票 の 郵 送 に 外 国 人 調 査 の アンケ ー ト な ど を 載  
せ る と、かくじつ ぜんいん い わた はなし とうきょう だんたい ほう うかが  
確 実 に ほ ぼ 全 員 に 行 き 渡 る と い う お 話 を、東 京 の NPO 団 体 の 方 か ら 伺  
っ た こ と が あ り ま し た の で、お 伝 え い た し ま す。

それから、アンケートの項目のようですが、他自治体で行った外国人調査では 49  
項目だったそうです。その調査の配布方法は雇用している事業所や学校、などに  
訪問、留置で、回答率6割ぐらいと調査報告書に出ていました。

今回の神栖市の調査の目的が多言語生活便利帳がメインだということで、そこま  
で項目が多くなってもいいのかもしれないと思うのですが、外国人「支援」の  
方向性だけではなくて、人材活用のような、外国人の方にも神栖市のために役立っ  
てもらいたいというような方向性での項目があると良いと思いました。

あと日本語はどのくらい話せるか5段階というのは、お話ができるということが  
すごく重要だと思うんですが、もう一つ重要なのはやはり識字ですね。文字がで  
きるかどうかというのは、非常に大きいことだと思います。

あと日本語を勉強したか、しているかに追加して、勉強したいかどうかという  
のも重要なポイントかなと思います。

また、ボランティア教室につながる場合には、どこだったら通いやすいのかとか、  
何曜日がいいのか、夜がいいのか昼間がいいのか、とかね。多言語生活便利帳から  
は離れてしまうんですが、今後のこととかも考えると、あわせてそういうことも盛

じむきょく  
事務局

こ  
り込めるといいのかなと思ひました。

もじ  
文字ができるかどうかという識字については、追加したいと思ひます。

がいこくじん しえん  
外国人の支援だけではなく参加という部分については、市としても推進していき  
たいことですので、こうもく ぶんりょう み  
項目の分量を見ながら調整いたします。

た ごいけん てん けんとう  
その他、御意見いただいた点については、検討してまいります。

いいん  
委員

わたし けいけん  
私の経験からいえるのは、たとえ ことども しょうがっこう ころ まいにちがっこう から てがみ とど  
きました。その頃私は全然読めなかったのて、おとど にほんじん  
夫が日本人だから、読んでもらうこ  
とことができました。旦那さんが日本人でなければ、全く分からなかったと思ひます。  
それで結構困ったことがあります。

たと なに あつ き し  
例えば何か集まりがあつて「何でこれなかったの？」と聞かれ、「知らなかった」  
ということが結構ありました。

たと ちゅうがく あ こうこう あ じょうほう ひつよう じゅうぶん じょうほう  
例えば中学に上がるとか、高校に上がるとき、情報が必要ですが、十分な情報  
え  
を得られなかった。どこかに、相談できると思ひます。

いいんちやう  
委員長

きやういく たい しえん ひじよう たいせつ  
教育に対しても、どう支援していくのかつていうところは非常に大切なポイント  
です。おや ことども  
親としては、子供がどうなつていくのかつてのは非常に大切なので、そこを  
ぎやうせい  
行政ががっちりサポートしてくれるつていうのは、おそらくまちづくりにしても  
ひじよう じゅうよう おも  
非常に重要なポイントになるのかなと思ひます。

いいん  
委員

かみすしな いどう  
神栖市内で移動をするのが、バスになるのですが、「ここから、ここまでいけます  
よ。」つていうような、バスの乗り方がわかる資料があつたら、嬉しいと思ひます。

いいん  
委員

けん むさく いちゅうしゆつ はっそう ざいじゅうがいこくじん やく  
1000件の無作為抽出によつて、発送するつていうことですが、在住外国人が約  
2600人いる中で、にん なか じんこうわり ちゅうしゆつ はっそう ひと ほうほう  
人口割などで抽出して発送するのつても一つの方法なのかなと考  
えます。

さきほど たじちたい しつもん ないよう こうもく しりよう  
あと、先ほどの他自治体で質問の内容が49項目だつたつていうことでしたが、資料  
2の案では項目が少くないと思ひるので、もう少し多くつても良いと考えます。また、  
かいどうほうほう じゅうきじゆつ おお よ おも  
回答方法は自由記述を多くしたほうが良いと思ひました。

ちやうさひやう はいふ かいどう さぎ まちが かくじつ かいどう  
また、調査票の配布と回答については、詐欺と間違われなつていよう、確実に回答  
え  
を得られるつていよう、さいどけんとう  
再度検討していただきたい。

たげん ごせいかつべんりちやう さくせい だんかい もんだい かんきやうもんだい  
多言語生活便利帳を作成する段階では、ごみの問題であつたりとか、環境問題で  
あつたりとか、みな なや おお ぶんや べんりちやう かつやう  
皆さん悩むところが多い分野について、便利帳をうまく活用できる  
つていよう、ちやうせい  
つていよう、こうかてき  
つていよう、調整していただきつて、効果的なものをつていいただきたい。

いいん  
委員

このアンケートも無作為抽出しても、それがどういうふう<sup>かた</sup>にその方<sup>て</sup>たちの手に届いてそれがどういうルート<sup>とお</sup>を<sup>ほ</sup>通<sup>へんじ</sup>って、果たして返事<sup>く</sup>が来るのかどうかということ<sup>かんが</sup>を<sup>よ</sup>考<sup>じっさい</sup>えてみると<sup>せつてん</sup>良い。実際に<sup>がいこくじん</sup>接点<sup>かた</sup>のない外国人<sup>かんが</sup>の方<sup>よ</sup>たちが、<sup>おも</sup>どうしたら、こちらの<sup>ほう</sup>方<sup>め</sup>に<sup>む</sup>目<sup>かんが</sup>を<sup>よ</sup>向<sup>おも</sup>けてもら<sup>よ</sup>えるか<sup>よ</sup>を<sup>おも</sup>考<sup>よ</sup>え<sup>おも</sup>ると<sup>よ</sup>良い<sup>おも</sup>と思<sup>おも</sup>う。

あと、<sup>いつほうてき</sup>一方的<sup>がいこくじん</sup>に外国人<sup>かた</sup>の方<sup>かた</sup>に<sup>かた</sup>押<sup>かた</sup>し<sup>かた</sup>付<sup>かた</sup>ける<sup>かた</sup>の<sup>かた</sup>では<sup>かた</sup>なく、<sup>かた</sup>外国人<sup>かた</sup>の方<sup>かた</sup>から<sup>かた</sup>も、<sup>かた</sup>この<sup>かた</sup>行政<sup>かた</sup>の方<sup>かた</sup>に<sup>かた</sup>接<sup>かた</sup>する<sup>かた</sup>こと<sup>かた</sup>が<sup>かた</sup>でき<sup>かた</sup>る<sup>かた</sup>よ<sup>かた</sup>う<sup>かた</sup>な<sup>かた</sup>シ<sup>かた</sup>ステ<sup>かた</sup>ム<sup>かた</sup>で<sup>かた</sup>す<sup>かた</sup>ね。そう<sup>かた</sup>い<sup>かた</sup>う<sup>かた</sup>の<sup>かた</sup>が<sup>かた</sup>あ<sup>かた</sup>る<sup>かた</sup>と<sup>かた</sup>も<sup>かた</sup>う<sup>かた</sup>少<sup>かた</sup>し<sup>かた</sup>相<sup>かた</sup>互<sup>かた</sup>の<sup>かた</sup>情<sup>かた</sup>報<sup>かた</sup>共<sup>かた</sup>有<sup>かた</sup>が<sup>かた</sup>でき<sup>かた</sup>る<sup>かた</sup>の<sup>かた</sup>で<sup>かた</sup>は<sup>かた</sup>な<sup>かた</sup>い<sup>かた</sup>か<sup>かた</sup>と<sup>かた</sup>思<sup>かた</sup>い<sup>かた</sup>ま<sup>かた</sup>す。

いいん  
委員

<sup>こま</sup>困<sup>こま</sup>り<sup>こま</sup>ご<sup>こま</sup>と<sup>こま</sup>の<sup>こま</sup>相<sup>こま</sup>談<sup>こま</sup>に<sup>こま</sup>か<sup>こま</sup>ん<sup>こま</sup>し<sup>こま</sup>て<sup>こま</sup>は、<sup>こま</sup>自<sup>こま</sup>由<sup>こま</sup>な<sup>こま</sup>意<sup>こま</sup>見<sup>こま</sup>を<sup>こま</sup>記<sup>こま</sup>載<sup>こま</sup>し<sup>こま</sup>て<sup>こま</sup>も<sup>こま</sup>ら<sup>こま</sup>う<sup>こま</sup>と、<sup>こま</sup>よ<sup>こま</sup>り<sup>こま</sup>良<sup>こま</sup>い<sup>こま</sup>の<sup>こま</sup>かな<sup>こま</sup>と<sup>こま</sup>感<sup>こま</sup>じ<sup>こま</sup>ま<sup>こま</sup>し<sup>こま</sup>た。

いいん  
委員

<sup>きじゆつしき</sup>記<sup>かいたう</sup>述<sup>すこ</sup>式<sup>こんなん</sup>の<sup>ぶぶん</sup>回<sup>かん</sup>答<sup>かん</sup>は、<sup>かん</sup>少<sup>かん</sup>し<sup>かん</sup>困<sup>かん</sup>難<sup>かん</sup>な<sup>かん</sup>部<sup>かん</sup>分<sup>かん</sup>が<sup>かん</sup>あ<sup>かん</sup>る<sup>かん</sup>の<sup>かん</sup>かな<sup>かん</sup>と<sup>かん</sup>感<sup>かん</sup>じ<sup>かん</sup>ま<sup>かん</sup>し<sup>かん</sup>た。<sup>かん</sup>な<sup>かん</sup>る<sup>かん</sup>べ<sup>かん</sup>く<sup>かん</sup>は<sup>かん</sup>選<sup>かん</sup>択<sup>かん</sup>式<sup>かん</sup>の方<sup>かん</sup>が<sup>かん</sup>良<sup>かん</sup>い<sup>かん</sup>の<sup>かん</sup>で<sup>かん</sup>は<sup>かん</sup>な<sup>かん</sup>い<sup>かん</sup>か。

それと、<sup>てつづ</sup>手<sup>ぶぶん</sup>続<sup>せんもんでき</sup>き<sup>せつめい</sup>の<sup>とき</sup>部<sup>とき</sup>分<sup>とき</sup>で、<sup>とき</sup>専<sup>とき</sup>門<sup>とき</sup>的<sup>とき</sup>な<sup>とき</sup>こ<sup>とき</sup>と<sup>とき</sup>を<sup>とき</sup>説<sup>とき</sup>明<sup>とき</sup>し<sup>とき</sup>な<sup>とき</sup>け<sup>とき</sup>れ<sup>とき</sup>ば<sup>とき</sup>な<sup>とき</sup>ら<sup>とき</sup>な<sup>とき</sup>い<sup>とき</sup>時<sup>とき</sup>が<sup>とき</sup>あ<sup>とき</sup>り<sup>とき</sup>ま<sup>とき</sup>す。<sup>とき</sup>そ<sup>とき</sup>の<sup>とき</sup>よ<sup>とき</sup>う<sup>とき</sup>な<sup>とき</sup>時<sup>とき</sup>に、<sup>とき</sup>文<sup>とき</sup>字<sup>とき</sup>を<sup>とき</sup>お<sup>とき</sup>互<sup>とき</sup>い<sup>とき</sup>に<sup>とき</sup>見<sup>とき</sup>て<sup>とき</sup>も、<sup>とき</sup>理<sup>とき</sup>解<sup>とき</sup>が<sup>とき</sup>困<sup>とき</sup>難<sup>とき</sup>な<sup>とき</sup>こ<sup>とき</sup>と<sup>とき</sup>が<sup>とき</sup>あ<sup>とき</sup>る<sup>とき</sup>の<sup>とき</sup>で、<sup>とき</sup>多<sup>とき</sup>言<sup>とき</sup>語<sup>とき</sup>生<sup>とき</sup>活<sup>とき</sup>便<sup>とき</sup>利<sup>とき</sup>帳<sup>とき</sup>と<sup>とき</sup>い<sup>とき</sup>う<sup>とき</sup>も<sup>とき</sup>の<sup>とき</sup>を、<sup>とき</sup>音<sup>とき</sup>で<sup>とき</sup>聞<sup>とき</sup>く<sup>とき</sup>と<sup>とき</sup>か<sup>とき</sup>は<sup>とき</sup>ど<sup>とき</sup>う<sup>とき</sup>か<sup>とき</sup>と<sup>とき</sup>思<sup>とき</sup>い<sup>とき</sup>ま<sup>とき</sup>し<sup>とき</sup>た。

いいん  
委員

<sup>たと</sup>例<sup>びやういんい</sup>え<sup>しよるい</sup>ば<sup>か</sup>病<sup>けいたい</sup>院<sup>うつ</sup>行<sup>たと</sup>く<sup>ぜんぶ</sup>と<sup>ぜんぶ</sup>き<sup>ぜんぶ</sup>と<sup>ぜんぶ</sup>か、<sup>ぜんぶ</sup>書<sup>ぜんぶ</sup>類<sup>ぜんぶ</sup>を<sup>ぜんぶ</sup>書<sup>ぜんぶ</sup>く<sup>ぜんぶ</sup>と<sup>ぜんぶ</sup>き<sup>ぜんぶ</sup>に、<sup>ぜんぶ</sup>携<sup>ぜんぶ</sup>帯<sup>ぜんぶ</sup>の<sup>ぜんぶ</sup>ア<sup>ぜんぶ</sup>プ<sup>ぜんぶ</sup>リ<sup>ぜんぶ</sup>で<sup>ぜんぶ</sup>写<sup>ぜんぶ</sup>す<sup>ぜんぶ</sup>と、<sup>ぜんぶ</sup>例<sup>ぜんぶ</sup>え<sup>ぜんぶ</sup>ば<sup>ぜんぶ</sup>全<sup>ぜんぶ</sup>部<sup>ぜんぶ</sup>ス<sup>ぜんぶ</sup>ペ<sup>ぜんぶ</sup>イ<sup>ぜんぶ</sup>ン<sup>ぜんぶ</sup>語<sup>ぜんぶ</sup>に<sup>ぜんぶ</sup>な<sup>ぜんぶ</sup>ると<sup>ぜんぶ</sup>か、<sup>ぜんぶ</sup>翻<sup>ぜんぶ</sup>訳<sup>ぜんぶ</sup>さ<sup>ぜんぶ</sup>れ<sup>ぜんぶ</sup>る<sup>ぜんぶ</sup>も<sup>ぜんぶ</sup>の<sup>ぜんぶ</sup>が<sup>ぜんぶ</sup>あ<sup>ぜんぶ</sup>る<sup>ぜんぶ</sup>と<sup>ぜんぶ</sup>聞<sup>ぜんぶ</sup>い<sup>ぜんぶ</sup>た<sup>ぜんぶ</sup>こ<sup>ぜんぶ</sup>と<sup>ぜんぶ</sup>が<sup>ぜんぶ</sup>あ<sup>ぜんぶ</sup>る<sup>ぜんぶ</sup>。日<sup>ぜんぶ</sup>本<sup>ぜんぶ</sup>語<sup>ぜんぶ</sup>で<sup>ぜんぶ</sup>答<sup>ぜんぶ</sup>え<sup>ぜんぶ</sup>ら<sup>ぜんぶ</sup>れ<sup>ぜんぶ</sup>る<sup>ぜんぶ</sup>か<sup>ぜんぶ</sup>ど<sup>ぜんぶ</sup>う<sup>ぜんぶ</sup>か<sup>ぜんぶ</sup>は、<sup>ぜんぶ</sup>ま<sup>ぜんぶ</sup>た<sup>ぜんぶ</sup>別<sup>ぜんぶ</sup>に<sup>ぜんぶ</sup>な<sup>ぜんぶ</sup>り<sup>ぜんぶ</sup>ま<sup>ぜんぶ</sup>す<sup>ぜんぶ</sup>が。

いいんちやう  
委員長

<sup>りやう</sup>よ<sup>き</sup>く<sup>き</sup>利<sup>き</sup>用<sup>き</sup>す<sup>き</sup>る<sup>き</sup>ア<sup>き</sup>プ<sup>き</sup>リ<sup>き</sup>を<sup>き</sup>ア<sup>き</sup>ン<sup>き</sup>ケ<sup>き</sup>ー<sup>き</sup>ト<sup>き</sup>で<sup>き</sup>聞<sup>き</sup>い<sup>き</sup>て<sup>き</sup>お<sup>き</sup>く<sup>き</sup>と、<sup>き</sup>様<sup>き</sup>々<sup>き</sup>な<sup>き</sup>方<sup>き</sup>面<sup>き</sup>で<sup>き</sup>便<sup>き</sup>利<sup>き</sup>な<sup>き</sup>の<sup>き</sup>かな<sup>き</sup>と<sup>き</sup>思<sup>き</sup>い<sup>き</sup>ま<sup>き</sup>す。<sup>き</sup>そ<sup>き</sup>れ<sup>き</sup>を<sup>き</sup>知<sup>き</sup>っ<sup>き</sup>て<sup>き</sup>い<sup>き</sup>れ<sup>き</sup>ば、<sup>き</sup>発<sup>き</sup>行<sup>き</sup>す<sup>き</sup>る<sup>き</sup>前<sup>き</sup>に<sup>き</sup>市<sup>き</sup>で<sup>き</sup>チ<sup>き</sup>ェ<sup>き</sup>ッ<sup>き</sup>ク<sup>き</sup>を<sup>き</sup>し<sup>き</sup>て<sup>き</sup>か<sup>き</sup>ら<sup>き</sup>送<sup>き</sup>っ<sup>き</sup>て<sup>き</sup>出<sup>き</sup>し<sup>き</sup>て<sup>き</sup>み<sup>き</sup>る<sup>き</sup>と<sup>き</sup>い<sup>き</sup>う<sup>き</sup>よ<sup>き</sup>う<sup>き</sup>な<sup>き</sup>こ<sup>き</sup>と<sup>き</sup>が<sup>き</sup>でき<sup>き</sup>る<sup>き</sup>よ<sup>き</sup>う<sup>き</sup>に<sup>き</sup>な<sup>き</sup>る<sup>き</sup>か<sup>き</sup>も<sup>き</sup>し<sup>き</sup>れ<sup>き</sup>ま<sup>き</sup>せ<sup>き</sup>ん。

いいん  
委員

<sup>ちやうさ</sup>こ<sup>たげんご</sup>の<sup>しつもん</sup>調<sup>きじゆつしきかいたう</sup>査<sup>かいたうしや</sup>は<sup>ぼご</sup>多<sup>かいたう</sup>言<sup>かいたう</sup>語<sup>かいたう</sup>で<sup>かいたう</sup>質<sup>かいたう</sup>問<sup>かいたう</sup>し<sup>かいたう</sup>て、<sup>かいたう</sup>記<sup>かいたう</sup>述<sup>かいたう</sup>式<sup>かいたう</sup>回<sup>かいたう</sup>答<sup>かいたう</sup>も<sup>かいたう</sup>回<sup>かいたう</sup>答<sup>かいたう</sup>者<sup>かいたう</sup>の<sup>かいたう</sup>母<sup>かいたう</sup>語<sup>かいたう</sup>で<sup>かいたう</sup>回<sup>かいたう</sup>答<sup>かいたう</sup>す<sup>かいたう</sup>る<sup>かいたう</sup>の<sup>かいたう</sup>で<sup>かいたう</sup>し<sup>かいたう</sup>ょう<sup>かいたう</sup>か。

じむきよく  
事務局

そのとおりです。

いいん  
委員

<sup>たと</sup>例<sup>くにべつ</sup>え<sup>き</sup>ば<sup>と</sup>国<sup>ちやうさ</sup>別<sup>じっし</sup>に<sup>ゆうこう</sup>ワ<sup>しゆだん</sup>ー<sup>おも</sup>ク<sup>おも</sup>シ<sup>おも</sup>ョ<sup>おも</sup>ッ<sup>おも</sup>プ<sup>おも</sup>や<sup>おも</sup>聞<sup>おも</sup>き<sup>おも</sup>取<sup>おも</sup>り<sup>おも</sup>調<sup>おも</sup>査<sup>おも</sup>を<sup>おも</sup>実<sup>おも</sup>施<sup>おも</sup>す<sup>おも</sup>る<sup>おも</sup>の<sup>おも</sup>も、<sup>おも</sup>有<sup>おも</sup>効<sup>おも</sup>な<sup>おも</sup>手<sup>おも</sup>段<sup>おも</sup>と<sup>おも</sup>思<sup>おも</sup>い<sup>おも</sup>ま<sup>おも</sup>し<sup>おも</sup>た。

じむきよく  
事務局

<sup>あた</sup>新<sup>しゆほう</sup>しい<sup>けんとう</sup>手<sup>けんとう</sup>法<sup>けんとう</sup>と<sup>けんとう</sup>し<sup>けんとう</sup>て<sup>けんとう</sup>検<sup>けんとう</sup>討<sup>けんとう</sup>し<sup>けんとう</sup>ま<sup>けんとう</sup>す。

いいんちやう  
委員長

<sup>ひと</sup>こ<sup>ほうほう</sup>の<sup>おも</sup>一<sup>ちやうさ</sup>つ<sup>かい</sup>の<sup>かい</sup>方<sup>かい</sup>法<sup>かい</sup>で<sup>かい</sup>や<sup>かい</sup>ら<sup>かい</sup>な<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>と<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>け<sup>かい</sup>な<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>と<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>う<sup>かい</sup>こ<sup>かい</sup>と<sup>かい</sup>も<sup>かい</sup>な<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>と<sup>かい</sup>思<sup>かい</sup>う<sup>かい</sup>の<sup>かい</sup>で、<sup>かい</sup>調<sup>かい</sup>査<sup>かい</sup>を<sup>かい</sup>1<sup>かい</sup>回<sup>かい</sup>や<sup>かい</sup>っ<sup>かい</sup>て<sup>かい</sup>み<sup>かい</sup>て<sup>かい</sup>そ<sup>かい</sup>の<sup>かい</sup>上<sup>かい</sup>で<sup>かい</sup>ま<sup>かい</sup>た<sup>かい</sup>具<sup>かい</sup>体<sup>かい</sup>的<sup>かい</sup>に<sup>かい</sup>ど<sup>かい</sup>こ<sup>かい</sup>か<sup>かい</sup>の<sup>かい</sup>国<sup>かい</sup>に<sup>かい</sup>偏<sup>かい</sup>っ<sup>かい</sup>て<sup>かい</sup>聞<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>て<sup>かい</sup>み<sup>かい</sup>る<sup>かい</sup>と<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>う<sup>かい</sup>方<sup>かい</sup>法<sup>かい</sup>も<sup>かい</sup>あ<sup>かい</sup>る<sup>かい</sup>と<sup>かい</sup>思<sup>かい</sup>い<sup>かい</sup>ま<sup>かい</sup>す。

いいん  
委員

よく外国では、日本人会というようなグループがあると思いますが、外国人の方グループみたいものは、神栖市にはないのでしょうか。

じむきょく  
事務局

あるかどうかを把握をしていないのが現状です。

市としては、ぜひそのようなグループがあれば、その会のメンバーの方と連絡することができるようにしたいと考えています。そのような方を通しての情報発信は、非常に有効と伺っています。

いいん  
委員

多分、正式なグループ、フォーマルなグループがないとすれば、インフォーマルなグループがあるかどうかですが、インフォーマルなグループは把握しにくい。だから、日本語教室に勉強に来るような方から、そういう情報を把握するのは良いと思います。

いいん  
委員

多言語生活便利帳に関するのですが、日本語教室の情報が出ていないようです。なので、日本語教室の情報は入れたほうが良いと思います。他に、今インターネットでも日本語を勉強するツールがたくさんありますので、日本語を自ら勉強できるツールの紹介を載せると良いと思います。

いいん  
委員

困りごと相談の中に入るかなと思うのですが、例えば学校に通ってるお子さんたちが、日本語がわからず勉強についていけないとか、そのような情報は入ってくるのでしょうか。日本語がわからない子どもたちに対するケアが、きちんとされているのかが気になります。

いいんちよう  
委員長

困りごと相談の中で、具体的に少し例を挙げて場面ごとに項目を作っておくと、困っていることの具体的な場面が把握できると思います。

いいん  
委員

年金や税金といった、日本の制度について、外国人へ説明するとき困ることがあります。短期間しか在留しない場合は、なおさら、「なぜ？」と外国人は思うようです。

いいんちよう  
委員長

病院とか学校という生活の場が浮かんでいましたが、おそらく年金や税金という制度的なことも、困りごとの一つであると思います

## 8 その他

第2回目の推進会議は7月19日（月）であることを連絡しました。

## 9 閉会